

令和4年度 市川中2年グランドデザイン



学年経営目標

お互いの可能性を信じ、目標に向かって挑戦する生徒・集団の育成

今年度の重点

確

・学習意欲を高めるための授業の工夫

対話のある授業を計画的に実施し, 生徒一人ひとりの活動 のある場を授業をめざす。

・自主学習の取り組み

家庭学習の習慣化をはかるとともに、知識の定着を意識し た方法を指導する。

自分の学習傾向を記録し, 自己理解を深める。

・テストの取り組み

見通しを持って,計画的に取り組むことができるよう指導 を工夫する。

・進路学習

卒業後のプロセスを学び、自分のどんな力を伸ばすべきか を考える機会を増やす。

豊 か な

IL)

の

育

成

健

康

安

の

<u>・一人ひとりの存在感ある集団づくり</u>

学級活動だけではなく, 学年の活動を通して, 一人ひとり が役割を担い、集団に参画する機会を増やす。

<u>・自他を尊重できる心の育成</u>

自分の可能性に気づく指導を工夫する。また、他者の努力 に気づき,相手の気持ちを大切にするよう指導する。

・新しいことへの挑戦

昨年度の取り組みを土台にして、さらに発展させたとりく みを考える思考力と創造力を養う。

・行動の自律

学年職員全員で道徳の授業を行い、多様な考えに触れる。 他者を傷つける言動を許さない集団づくりを行う。

<u>・自立した生活に向けた指導</u>

優先させるべき事項を明確にして、時間管理の意識を持って 生活するよう指導し、生活にメリハリを持たせる。

- ・清掃活動の充実,適切な感染症対策
- ・情報リテラシー学習

機会を設け、ネット社会やSNSの特色、適切な活用を学ぶ。

<u>・インターネットのよりよい活用</u>

学校生活での効果的なタブレット活用について教師生徒が一 緒に試行錯誤する。

・情報発信,保護者との連携

学級通信, 学年通信を適宜発行し, 学校の様子を発信する。 個々のよりよい成長のために、保護者と連携し学校の様子を 伝える機会を多く持つ。

・地域参画

地域の一員として、社会参画を促す指導をする。

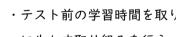
職場体験を通して, 地元の企業や働く人々の様子に触れ, 地域を理解するとともに、自己の進路に生かす。(みさと学) 地域の人材を生かした学習活動を取り入れる。

今年度の重点取組及び分掌

- ・授業形態を工夫し,意見交流ができる場面を設ける(全)
- ・生徒のつぶやきをひろう授業を心がける。(全)
- ・自主学習を回収し、生徒の学習状況を確認する。(全)
- ・基礎知識を問うミニテストを実施する。(各教科)
- ・学力向上に向けた取り組みを行う。(市瀬)
- ・学習カレンダーを掲示する。(小林)
- ・見通しをもった自主学習ができるよう,学習内容を掲示する。
- ・タブレットを活用した授業の工夫・改善を提案する。(串松)
- ・テスト前放課後学習会を実施し、知識の定着を図る(全)



- ・学級を一人一役を基本とした、係・当番活動を工夫する。(担任)
- ・行事などを通して、お互いの良いところを認め合い、素直に気持 ちを表現する活動を行う。(串松)
- ・自分の良さを見つける活動を行う。(担任)
- ・道徳の授業を通して、他者理解の力を伸ばす。(雨宮)
- ・他者理解を深め、それぞれの個性を認め合えるよう、インクルー シブ教育を進める。(岸本・雨宮)
- ・関係機関と連携し,生徒のよりよい成長を多くの人で支えるとと もに、卒業後の支援につなげる。(小林・岸本)



- ・テスト前の学習時間を取り組み表記録し、事後のふり返りを次 に生かす取り組みを行う。(市瀬)
- ・教室環境の整備を行う。(担任)
- ・教室環境を快適に保つための指導を行う。(全)

・学校生活上の優先事項を明確にする。(担任)

- ・給食時の感染予防を徹底する。(全)
- ・情報リテラシーについて取り上げる授業を実施する。(市瀬)
- ・タブレットの活用法を考え提案し, 試行する。(串松)



- ・学級通信を発行し、日常の様子を保護者に伝える。(担任)
- ・学年通信を発行し、学年の様子や予定を保護者に伝える。(小林)
- ・職場体験学習を通して,自分たちが住む地域の新たな一面を発見す る活動を行う。(全)
- ・地域への働きかけを伴う活動を企画する。(串松)
- ・教科学習を含め,地域の人材を活用した学習活動を企画する。 (全)

